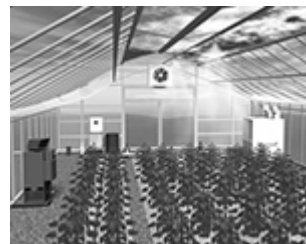

養液土耕栽培システム

養液土耕栽培システム・TTシリーズ



養液土耕とは、土壌の持っている良さを活用して、作物の生育に合わせ、必要な時に必要な量を灌水施肥する栽培方法です。

特長

1. 省力栽培

基肥の施与を必要としないため定植までの作業が楽になり、定植後の灌水施肥も液肥混入機で行うので大幅に労力が軽減されます。

2. 環境にやさしい合理的施肥

養液栽培の考えを取り入れ、土壌溶液あるいは土壌の水抽出液の肥料濃度をECメーターで測定し、栄養状態を数字で把握することで、常に最適な状態に肥培管理することができ、養水分の過剰施与を回避します。

3. ノンストレス栽培技術

必要な時に必要な量の養分と水を与える栽培であり、過剰施肥によるストレスが回避できます。また、肥料は養液土耕栽培専用肥料を使用しますので塩化物などの蓄積による塩類ストレスが起こりません。

4. 低コスト栽培

現在栽培している土壌を用いて栽培するので液肥混入機とその周辺機材だけのわずかな投資で導入でき、収益性の高い経営が可能となります。

5. そろった生育

精度の高い液肥混入機と給液ムラのない点滴チューブを用いるため、作物はムラのない揃った生育となり地上部管理が楽になります。

液肥混入機 TT (Tractable 扱いやすく&Trustable 信頼できる) シリーズ

1. 高精度な液肥混入 液肥ポンプのリアルタイムフィードバック制御採用。

安定かつ高精度な液肥注入を実現しました。

2. らくらく操作 カラータッチパネル採用でわかりやすい操作実現。

動作状況もリアルタイム表示されます。

3. 多様な履歴データ 原水流量、液肥流量に加え、窒素、りん酸、カリウム

各成分量もデータ表示できるようになりました。

* OATアグリオ製肥料使用時

液肥混入機TT シリーズ 動作と機能

動作

肥料（2液）混入を独立で制御
8系統（電磁弁）の給液制御＋1系統（捨水用）標準装備
16回／日 時刻設定毎に8系統を順に給液
任意の時間に8系統／1回のみ稼働可能（手動運転）
給液量指定は、水量設定／時間設定から選択可能
給液量、液肥希釈率は時間／系統独立で設定可能
6か月先まで、自動設定／水のみ給液／給液なし を設定可能

機能

設定条件をシステム内に最大50ファイル保存可能
チューブの詰まり具合を検出可能
履歴データを1年分保存
エラー発生時、対処方法をタッチパネルに表示
チューブ交換時期をタッチパネルにアナウンス表示
液肥ポンプの自動エア抜き（設定ON時）



液肥混入機TTシリーズの製品仕様

※ 製品の仕様等については、予告なく変更する場合があります。

項目／モデル	TT750	TT1500
電源電圧	3相AC200V/220V、単相AC200V/220V/100V（＊1）	
消費電力	100W以下（オプション取付時除く）	
給液能力	10～150 ℓ /min	20～200 ℓ /min
混入倍率	20～600倍（＊2）	20～600倍（＊2）
液肥種類	2液混入	
原水圧力	0.18MPa設定	
系統数	8系統（＋捨水1系統）	
防水防塵	IP44	
保存温度	－10℃～＋70℃	
保存湿度	80%（60℃時）	
動作温度	0℃～＋50℃	
配管口径	40A	

＊1 電源電圧

オプション機器なしの場合、記載すべての電源電圧で動作します。
オプション機器（攪拌モータ、電磁定量ポンプ）追加の場合は、適合した電源電圧を配線してください。

＊2 混入倍率

混入倍率は、原水流量の大きさによって変わります。

- ＊ 使用する肥料や、電磁弁、点滴チューブなどの部材は、弊社推奨製品をご使用ください。
弊社推奨品以外の液肥・部材をご使用になると、機器のトラブルの原因となる可能性があります。

大流量液肥混入機

大流量型の液肥混入機で露地栽培や大面積圃場への設置に最適です。



機種名	AC200G II
液肥混入ポンプの数	2
液肥ポンプの最大注入量	3.0 ℓ / 分
電源	3相AC200V
主管口径	50A
流量	100～350 ℓ / 分
タイマー	デジタル 10分単位の設定 16回 / 1日
系統数	8系統内臓
(電磁弁数)	(8個まで使用可能)
灌水量の制御	時間制御 / 水量制御の選択可
液肥の制御	時間制御 (各系統個別)
ポンプ制御盤	3.7kw内臓
オプション	オプションあるいは小面積でのご使用をご希望の方は担当者にご相談ください。